

記者発表資料

H27・28 20号相模原市緑区小淵地区改良工事で 「間接工事費実績変更方式」を試行

昨今、工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調となる工事が相次いでいることから不調・不落対策を試行しております。

今回発注する「H27・28 20号相模原市緑区小淵地区改良工事」については、幹線道路である一般国道20号で、延長の長い範囲において規制して行う工事であることから、共通仮設費の一部に標準的な積算と当該現場での見積り(実勢価格)に乖離が生じると考えられるため、以下の試行を行います。

① 「間接工事費実績変更方式」

本工事は、大型車の通行も多く、長いS字カーブのある幹線道路における現道上で交通規制を伴う工事であり、また、当該箇所を含む前後の国道20号は急峻な地形に位置し、資材置き場等の確保も困難です。これらのことから、工事地域内の安全管理に要する費用や建設資機材の運搬費等について、標準的な積算と当該現場での見積り(実勢価格)に乖離が生じると予想されることから、その妥当性を確認のうえ実績により共通仮設費(率分)について変更する「間接工事費実績変更方式」を採用します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ、
八王子記者クラブ、立川市政記者クラブ、青梅・西多摩記者クラブ、相模原記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 相武国道事務所

TEL 042-643-2001(代)

副所長 中原 浩慈(なかはら こうじ) 交通対策課長 今村 忠彦(いまむら ただひこ)

《間接工事費実績変更方式の工事概要》

(1) 工事名：H27・28 20号相模原市緑区小淵地区改良工事

(2) 工事場所：神奈川県相模原市緑区小淵地先

(3) 工期：契約締結の翌日から平成29年2月28日までとする。(予定)

(4) 入札方式：一般競争入札 総合評価方式(施工能力評価型Ⅱ型)

地域密着型 施工体制確認型 見積活用方式
難工事指定対象工事 間接工事費実績変更方式

(5) 工事種別：維持修繕工事

(6) 工事内容(概要)

工事延長 約97m

人工地盤撤去工1式、親杭パネル壁工32m及び28m、
仮橋・仮栈橋工(設置・撤去)2橋、雑工1式

(7) 実績により変更を行う工種「間接工事費実績変更方式」

・共通仮設費(率分)のうち、運搬費、安全費

(8) 実績により変更を行う理由

本工事は、一般国道20号相模原市緑区小淵地先における歩道拡幅を目的とした擁壁等の撤去及び設置等を行うものです。当該箇所は対面2車線の狭隘な箇所、S字カーブ全体にわたる延長の長い交通規制を行うため、1日の交通規制において用いる規制の資材が多数必要な箇所です。また、当該箇所周辺は急峻な地形であるため、資材置き場等の確保も困難であり、地域の特殊性から資材の運搬や交通規制において作業効率が低下することが考えられます。そのため、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されるため、「間接工事費実績変更方式」を試行するものです。

(9) スケジュール

○入札公告：平成27年5月27日

○入札日：平成27年7月10日